

# カリキュラム

機構施設名： 岡山職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 株式会社アイ・ビー・ピー

<b>B.生涯キャリア形成</b>	役割の変化への対応	中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法
-------------------	-----------	-----------------------------

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かし、後輩従業員の抱える悩み等に対してメンターとして相談援助を行っていくために必要な知識と技能を習得する。
---------	---

「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
1 職場の課題	(1)職場の現状把握【演習あり】 現状把握は、職場の課題の中で最も重要なステップです。現状把握を的確にできないと、この後の要因解析や改善が上手くいきません。現状の状態を正確に客観的に掴み、要因解析の手掛かりを掴み把握することが重要です。職場を現状把握する手法について、演習を通して解説します。 (2)職場の課題と解決のプロセス【演習あり】 職場の課題の解決のプロセスには段階があります。課題発見から、課題解決、新たな課題発見のプロセスを段階的に解説します。課題解決における、成功事例の紹介から、「局面」「手順」「思考プロセス」の考え方について、演習を通して解説します。【講義】→【演習】→【グループワーク】	2.0
2 求められる役割	(1)職務経験の確認【演習あり】 自己が環境の変化に対応しながら、自ら学び、キャリアを構築して主体的にキャリアを形成することが大切です。社会の様々な変化や多様化に対応し、企業が成長していくために、主体的なキャリア形成が目まぐるしく求められています。企業は、「独自性」「専門性」「自律性」をもつ人材を要求しています。自発性のある能動的な行動でステップアップし続けることが、継続雇用者に求められています。職務経験の再確認をし、求められる役割と能力について解説します。 (2)上司とのコミュニケーションによる役割の確認【演習あり】 上司の補佐と後輩の支援は、全体最適を俯瞰して見る能力アップが必要です。チェックリスト演習を通して、優秀なリーダーに求められる、上司とのコミュニケーション力、責任力、決断力、創造力、メンタル力について解説します。リーダーの総合的な成長と部下の成長と生産性向上は比例することの重要性を共に学びます。 【講義】→【演習】→【グループワーク】	2.0
3 メンタリングによる相談援助	(1)メンタリングとは【演習あり】 メンタリングとは、人が本来持っている無限の可能性を最大限に発揮することができるように支援するための手法です。新たな時代に求められる理想の人材像は、周りの環境や他人の評価に振り回されることなく、あらゆることに挑戦して常に成長することを楽しむ姿勢をもった人材です。人は誰にでも無限の可能性があり、一人ひとりが持つ強みを引出し受け入れながら価値観を尊重することで、その可能性を最大限に発揮できるようになります。メンタリングの神髄は、その人の存在だけで相手をやる気にさせることであり、教えずして人を育てることです。人と人との関係の中で、根本的な視点から改善し、信頼関係を構築するための、演習と解説をします。 (2)メンタリングのポイント【演習あり】 メンタリングの機能は大きく2つに分けると2つあります。第一に挙げられるのが「キャリアの機能」。メンターはメンティーに活躍の場を与え、専門技能を授けたり、トラブルに直面したときには一緒に解決策を考えたりして、メンティーの昇進・昇格を後押しします。第二の機能は「社会的・心理的機能」。メンターには、自らが模範となって社会人としての心構えを示したり、キャリア全般に関する助言や、ときには仕事以外の悩みへの相談にも乗ったりするなど、メンティーの精神面を支える働きかけが求められます。キャリア開発への支援だけでなく、メンティーの人的成長に資する支援を含むのがメンタリングの大きな特徴で、重要なポイントであることを、演習を通して解説します。 (3)メンタリングの導入と効果【演習あり】 メンタリングでは、指示・命令によらず、助言や対話による本人の“気づき”や自主的な学びが尊重されます。またメンティーが気軽に相談できるように、メンターには評価者である直属の上司よりも、ラインの異なる上司や同部署でも役職にない先輩社員を優先して充てるのが、このメンタリング制度の通例です。メンタリングによって、チームメンバーはいかなる困難を乗り越えて、目的を達成する自立型姿勢(他人に依存せず、自分で考え、行動できる能力)を身につけることができます。さらに、お互いに支援し合うことによって、そのチームの生産性を最大限に高めることができます。メンタリングの導入と効果について、演習と解説をします。 (4)メンタリングに必要なコミュニケーション力【演習あり】 「メンター」と呼ばれる経験豊かな年長者が、組織内の若年者や未熟練者と定期的・継続的に交流し、対話や助言によって本人の自発的な成長を支援することをいいます。メンターは「師匠、信頼のおける助言者」の意味であり、メンターへの言葉として、メンターから指導・支援を受ける人材を「メンティー」と呼びます。人を育てられる人、他人を成功させることができる人、つまりメンタリングの手法を通して相手をやる気にさせ、あらゆる困難に挑む勇気を与え続ける存在であるメンターとしての必要なコミュニケーション力向上のための、演習と解説をします。 【講義】→【演習】→【グループワーク】	2.0
合計時間		6.0

カリキュラム作成のポイント
組織の活性化のためには、中堅・ベテラン従業員がメンターとして、後輩従業員の抱える悩み等に対して相談援助を行うことが不可欠です。メンタリングによる、後輩従業員に対する援助・指導の方法を学び、組織の活性化のための自身の役割を理解できるカリキュラム内容としました。職場におけるカウンセリングやモニタリングなど、事例をもとにした演習と解説を盛り込んだ訓練内容です。

訓練に使用する機器等								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">●機器・ソフトウェア(受講者用)</td> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">●機器・ソフトウェア(講師用・その他)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>                     ・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード                      OS:Windows10                      アプリケーション:Microsoft Office 2016 PowerPoint                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">●使用するテキスト</td> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">●その他</td> </tr> <tr> <td>・自作テキスト</td> <td></td> </tr> </table>	●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)		・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード OS:Windows10 アプリケーション:Microsoft Office 2016 PowerPoint	●使用するテキスト	●その他	・自作テキスト	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)							
	・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード OS:Windows10 アプリケーション:Microsoft Office 2016 PowerPoint							
●使用するテキスト	●その他							
・自作テキスト								

利用事業主に用意をを求める機器等	備考
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(赤・黒)	